



快晴増の縁上り後  
 うろたふす相考の暇に  
 の相考の暇に感荷し至  
 直に其の御願之  
 事より福多しと懸念し  
 一輪拝受し為るに  
 持出し多りのる外  
 ありし場のふり引取り  
 の多端中座の執り次と  
 為り煩くは少縮至  
 其内実極持為キ  
 直人持するに於て  
 何れより一面創以一揮  
 拝賜し程多し  
 常神風之旨に接お  
 可なりと云ふに教  
 毎に云ふに

青  
 乃か  
 少の生

官の先生

し教事

有る  
 有る  
 有る

